

帯工高に測量機
遊佐組7台寄贈

【池田】池田町の遊佐組（遊佐俊治社長）は1日、授業で活用してもらおうと、帯広工業高校（大西益巳校長）に測量機7台を寄贈した。

同社では同校環境土木科の生徒をインターンシップで受け入れている。昨年、同社社員が打ち合わせのため同校を訪れた際、測量実習を見学し、生徒数に見合っていないことを知った。同社では、測量機の高度化・効率化に伴い、役目を終えて

保管されている機器があったことから寄贈を決めた。寄贈したのは「レベル」と「セオドライト」各2台、



感謝状を手にする遊佐社長（右）と大西校長

トータルステーション3台。同社で寄贈式が行われ、大西校長から遊佐社長に感謝状が贈られた。遊佐社長は「土木の世界で活躍してくれるであろう生徒に使ってもらえればうれしい」と話し、大西校長は「ご厚意に感謝します。大切に使用させていただきます」と述べた。寄贈式には同校をこの春卒業し、この日入社したばかりの西川侑希さんが同席した。（澤村真理子）